

「ICTの利活用による地域活性化等に関する包括連携協定」の締結について

西伊豆町（町長：藤井 武彦）とNTT西日本 静岡支店（支店長：土井内 裕章）は、ICTの利活用により、地域の様々な課題に迅速かつ適切に対応し、地域社会の活性化及び住民サービスの向上を図ること、魅力あふれ、暮らしやすさと幸せが実感できるまちづくりを推進するため、包括連携協定を締結します。

1. 背景

西伊豆町では、町の将来像である「“ふるさと”と言いたくなる夕陽のまち西伊豆町」の実現に向け、町民と行政とが協働するまちづくりに積極的に取り組み、これからの時代に合ったまちづくりをめざしています。

また、地域情報化の取り組みとしては、2016年度より光ファイバー網整備を進め、町内全域での光インターネット接続サービス※1が利用できるように計画しています。これにより、高速で効率的なサービスの提供や情報発信が行われ、誰もが情報を共有・活用できるようになります。

こうしたICT基盤整備計画が進む中、NTT西日本 静岡支店においてもICT分野でこれまで培ってきた経験や最新の技術を活かした地域への支援について検討を進めてまいりました。

このような背景のもと、ICTを利活用し、相互に連携しながら地域社会の活性化及び住民サービスの向上に取り組むことで両者が合意し、今回「ICTの利活用による地域活性化等に関する包括連携協定」を締結することとなりました。

※1 サービス提供エリアであっても利用できない場合があります。インターネットのご利用には、プロバイダーとの契約・料金が必要です。

2. 連携協力する内容

ICTの利活用により、下記項目の実現に向け連携協力します。なお、具体的な取り組み内容及び実施方法については、両者で協議のうえ決定いたします。

- (1) 地域資源を活かした魅力ある産業の育つまちづくりに関すること。
- (2) 地域で支え合う安心とやすらぎのあるまちづくりに関すること。
- (3) 個性ある地域の発展と快適な生活のできるまちづくりに関すること。
- (4) 住民と行政がつくる協働のまちづくりに関すること。

3. 今後の取り組み

今回の包括連携協定締結を契機として、協定に基づく具体的な取り組みの策定作業を推進し、地域社会の活性化及び住民サービスの向上へ向けた事業の検討を行います。

住民が安心とやすらぎの生活ができる西伊豆町の実現に向けて、今後、両者で力を合わせ、地域と一体となった取り組みを推進していきます。

ニュースリリースに掲載されている内容は、報道発表時のものです。
最新の情報と内容が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。